

寺報

報恩講の話

令和二年十一月
第八十七号

正念寺護持会発行

常陸太田市久米町二十一

電話〇二一九四一七六一〇五八

FAX〇二一九四一七六一〇一六九

報恩講が、親鸞聖人のご命日に因んだ法要であることはもう皆さまもご存じのことと思います。親鸞聖人がお亡くなりになつたのは、旧暦の十一月二十八日（太陽暦にすると年が明けた一月十六日）の事です。親鸞聖人についての当時の資料は大変少なく、実はお亡くなりになつた場所にもいくつかの説があります。御伝抄によると、入滅の地は、押小路南・万里小路東にある善法院（善法坊）とされています。その場所については、現在の本願寺派角坊別院（京都市右京区山ノ内御殿堂町）のある地とも、中京区御池通柳馬場上の虎石町付近ともいわれています。



角坊別院門前

当宗派である本願寺派（西本願寺）では、江戸時代末期の安政四年（1857）の宗祖聖人六百回大遠忌法要にあたり、西の万里小路に当たる山ノ内の地を往生地と考証して善法院を再興しました。これが現在の角坊別院になります。

また大谷派（京都・東本願寺）では、江戸時代に建立された法泉寺の跡地に当たる、京都市立柳池中学校付近を往生地として、柳池中学校

内に「見真大師遷化之旧跡」の石標を建立しています。更に、下京区西洞院松原右に入る藪下町にある「光円寺（大谷派）」という説もあります。それぞれ写真を入れておきましたので、京都に行かれたときにお参りしてみて下さい。

入滅の地がこうして数カ所あるなら、荼毘に付された場所についても本願寺派と大谷派では場所が違っています。当宗派では、鳥辺山南辺に「延仁寺」があつたとして、清水寺の南側の現在の大谷本廟北東にある「御茶毘所」であると言い、大谷派は、現在の延仁寺（京都市東山区今熊野總山町）で荼毘に付されたとしています。

お亡くなりになつた場所も荼毘に付された場所もはつきりしていないわけですが、大事なことは、親鸞聖人によつて伝えられた教えが、今まで届いているという事でしょう。法然聖人から親鸞聖人に伝えられた教えが、親鸞聖人によつて花開き、『お念佛一つで救われる』という判りやすいみ教えが、今まで多くの人たちによつて受け伝えられてきた事こそが、報恩講をお勤めさせて頂く意味ではないでしようか。

今から七百五十年前にお亡くなりになつた親鸞聖人は、今なお「お念佛を申させて頂きましょう」と私たちに語りかけているのでしょうか。だからこそ私たちは、報恩講法要を大事にして毎年お勤めさせて頂いていることだと考えます。



柳池中学校前



光円寺（大谷派）

仏說阿彌陀經

ご法事でよく使われるお経に『仏說阿彌陀經』があります。仏説とは、お釈迦様がお説きになつたという意味です。ご法事では、漢文のまま読んでおりますので、聞いてる側は意味がわからず、なんとなく有り難いのかな?という感じで聞いているのではないでしょうか。今回から、何度かにわたつて『仏說阿彌陀經』を私たちが普段使つている言葉に訳して、意味が少しでも分かり易いように訳してみたいと思います。

(意訳)

このような教えを聞いて、私の心の闇が解き放たされました。
お釈迦様は、舍衛国の祇園精舎に一千二百五十人のとても勝れたお弟子方とともにいらつしやつた時のことです。そのうち主な方は、長老の舍利弗を始め、摩訶目犍連・摩訶迦葉・摩訶迦旃延・摩訶俱絆・離婆多・周利槃陀伽・難陀・阿難陀・羅睺羅・橋梵波提・賓頭盧・頗羅墮・迦留陀夷・摩訶劫賓那・薄拘羅・薩・常精進菩薩などのすぐれた菩薩たちや、その他にも帝釈天など、非常に沢山のさまざまな神も一緒に聞いていた。

弟子方がいらつしやつた。また、文殊菩薩・弥勒菩薩・阿観音菩薩・乾陀訶提菩薩などのお

その時お釈迦様は、舍利弗に仰つた。ここから西の方へ、十万億の仏さまの国(宇宙の果て)を過ぎたところに、極楽と言う世界があり、

そこにいらつしやる仏を阿弥陀仏と申しあげ、今も教えを説いていらつしやる。舍利弗よ、その世界には四苦八苦と呼ばれるような苦



しみ(自分の思い通りにならないという苦しみ)も無く、ただ沢山の樂(物欲によつて得られるものや、心の持ちようでなく、常に楽しみや幸せが感じられる身になること)だけを受けているから、極樂と名付けるのである。

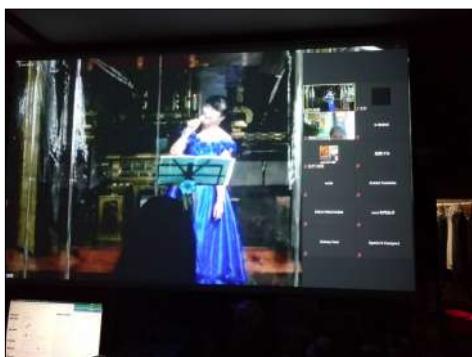
次号へつづく

彼岸花逍遙

花祭りに行う予定だつた一期一會コンサートを、去る九月十九日に行いました。今回も天下井朱美様にお願いして、盛会の内に終わることが出来ました。

今回は、新型コロナウイルスの問題もあり、それぞれの安全も考えて、今までとはだいぶ様子の違う形でのコンサートになりました。もちろん本堂がステージなのは今までと同じですが、ビニールのカーテンを使つたり、ZOOMでの配信を行うなど、インターネットも利用しての行事になりました。お陰さまで、直接本堂で聴いて下さつた方の他、ZOOMでの聴取者の方も結構いらっしゃいまして、有り難い想いの中、コンサートを終了させて頂きました。

今後は、様々な行事において、ZOOMを利用しての配信を行う予定にしております。そちらでもどうぞお楽しみ下さい。



参れう寺カード10ポイント達成報告



この度、井坂友之様が、参れう寺カード10ポイントを達成されましたので、ご報告致します。このところの新型コロナウイルス感染症の流行のために、法要参加者の制限などもしているため、10ポイント達成が難しくなっているかと思いますが、有効期限はありませんので、正念寺の様々な行事への参加をして、是非とも達成して下さい。

新型コロナウイルス禍での お付き合いエチケット

い。

昨年の今頃、新型コロナウイルスは遠く中国内陸部で流行していました。正直、私たちはあまり気にも留めていなかったのではないかと思います。それが、瞬く間に世界中に流行してしまいました。

この病氣について、恐れる方もいればそうで無い方もおります。その為にトラブルも起こっているようですが、この様な状態でのエチケットを考えてみたいと思います。

怖がっている方がいる限り、その方に合わせていくというのが正しい付き合い方ではないでしょうか。外出時のマスク着用や店の入退店時の消毒。帰つてからのうがい・手洗い。お互い気を付けて、うまく新型コロナウイルスと付き合っていきましょう。

永代経法要のご案内

右ページにも書きましたが、九月十九日に行つた一期一会コンサートにおいて、初めてZOOM配信も行いました。思つた以上の方が視聴して下さいまして有り難く思います。今回の報恩講法要も含め、今後は永代経法要など、原則各種行事をZOOM配信していく予定です。

ZOOM配信については、各ご門徒宅に配布するチラシの他、正念寺LINEにご登録の方には、LINEのタイムラインでご案内いたします。また、ホームページなどのツールも使いながらご案内いたしますので、是非ご視聴下さい。

永代経法要については、例年同様来年三月八日の午後一時から護持会総会を行い、その後永代経のお勤め、そして一龍斎春水様の講談という流れになりますので、よろしくお願ひ致します。永代経法要の講談終了がだいたい午後三時半くらいになろうかと思います。

なお、ZOOM配信をご視聴下さる方は正念寺ご門徒以外の方もおりますので、参れう寺カード押印のこともありますから、各自のお名前の前に「正念寺」を付けていただきたく存じます。永代経法要の配信時間は、法要開始五分前(だいたい午後一時四十分位)から、講談終了時間まで行いますので、心静かに法要にご参加いただければ有り難く存じます。

下記は、来年の永代経法要のQRコードになります。パスワードはありませんので、気軽にご視聴下さい。

また、ミーティングIDを入力される方は、
【84404057687】になります。



永代経法要 永代経法要
永代経法要 永代経法要
永代経法要 永代経法要

感謝錄

今年も沢山のお仏供米をご奉納戴きました。

リリード謹んで「報告させて頂きます。」

十月二十七日現在

ご奉納戴きましたお仏供米は大切に使わせて頂きます。

その他、報恩講法要や永代
経法要に際し、また常日頃
から農業をされている方々
から、いろいろな野菜など
のご奉納も戴いております。

ここにご報告と感謝を申し上げます。



正念寺ホームページのご案内

正念寺ではホームページがございます。常陸太田・正念寺で検索していただきますと「正念寺」のホームページが出てきます。

なお、現在ホームページのサーバーを移行中です。左QRコードは新しいサーバーのホームページになつております

スマートフォンなどから
は、下記QRコードを
読み込んでください。
す。



さて、今回から『仏説阿弥陀經』についての意訳を掲載していきます。このお經は、ご法事の場でよく読まれるお經でもありますので、是非その意味を知つて戴きたいと思つて連載する事になりました。

連載する事になりました。

今回の掲載した中に「沢山の樂（物欲によつて得られるものや、心の持ちようでなく、常に楽しみや幸せが感じられる身になること）だけを受けているから、極楽と名付ける」とあります。が、私たちの世界も、偽善・独善を離れ、是非この様な世界に近づいて欲しいものだと思います。自戒を込めて。

今回の新型コロナウイルス感染症がもたらした様々な変化。リモートによる会議などは良い変化としても、飲食店の倒産や閉店、航空会社の事業撤退などは悪い変化になります。とは言え、これだけ沢山の方が怖がれば、当然経済に大きな影響があるのは自明の理。その辺のバランスの舵取りですから、政府は大変だらうと思います。

住職雜感